

協同組合大阪紙文具流通センター経営労務委員会 主催

みな様
の豊かな老後を目指して...

人生100年時代の お金の新常識セミナー

独立系FP事務所 CFP® 山下幸子

このようなお悩みありませんか？

銀行預金に預けても、利息はスズメの涙
でも、投資に手を出して絶対、損したくない



新NISA、わたしも今から始めたほうがいい？
口座開設したけど、どれを選んだいいかしら？



今やっている、お金の積立、果たして
それで老後は足りるでしょうか？



子供に迷惑をかけたくないが、介護にいくら
必要なだろう・・・



テレビ・ラジオ・新聞・セミナー・活動約22年

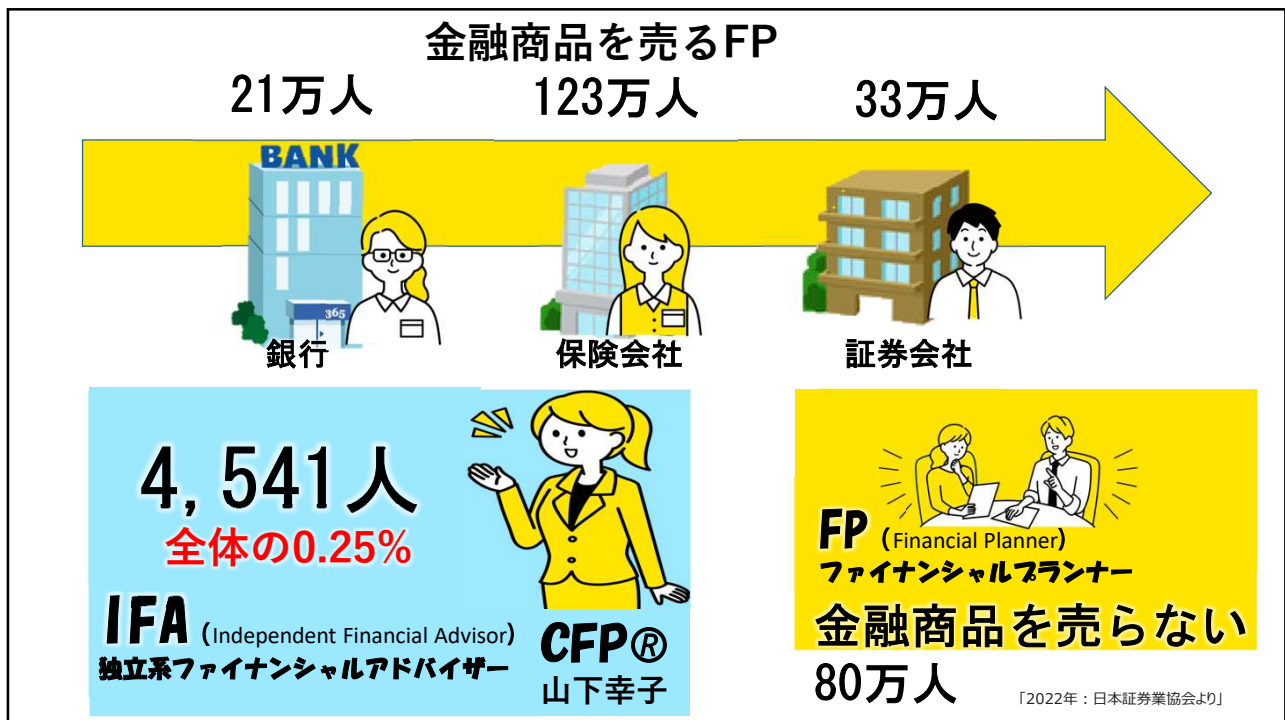


セミナー参加者の風景（企業・大学）



ファイナンシャルプランナー 国際資格 CFP®

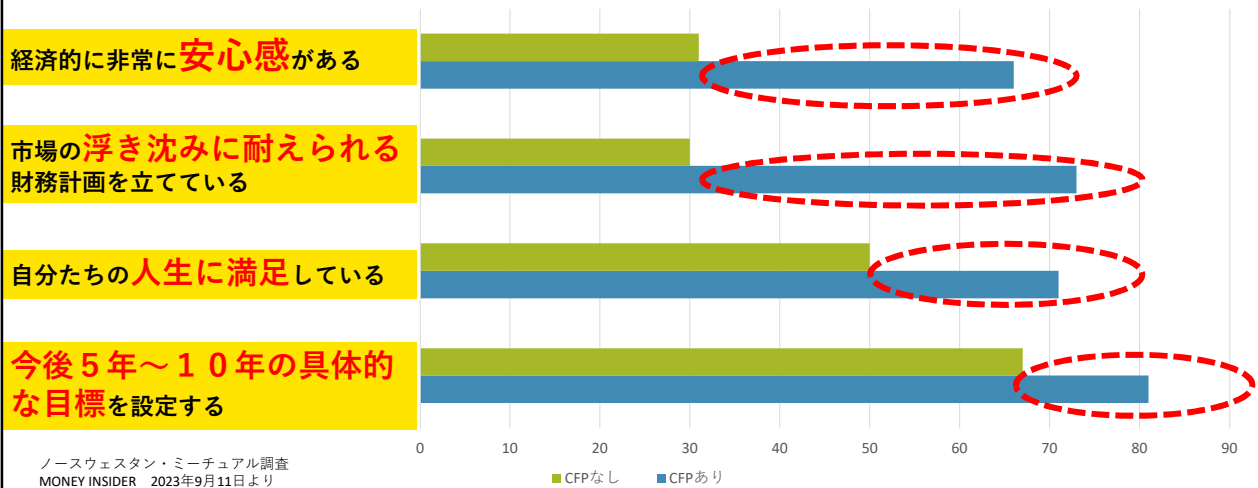
IFA (独立系ファイナンシャルアドバイザー) とは？



米国ではお金の相談は専門家（CFP）へ

（高度なFP技能と職業倫理を有するFPに与えられる国際資格）

お金の専門家（CFP）に相談・相談しない場合の調査

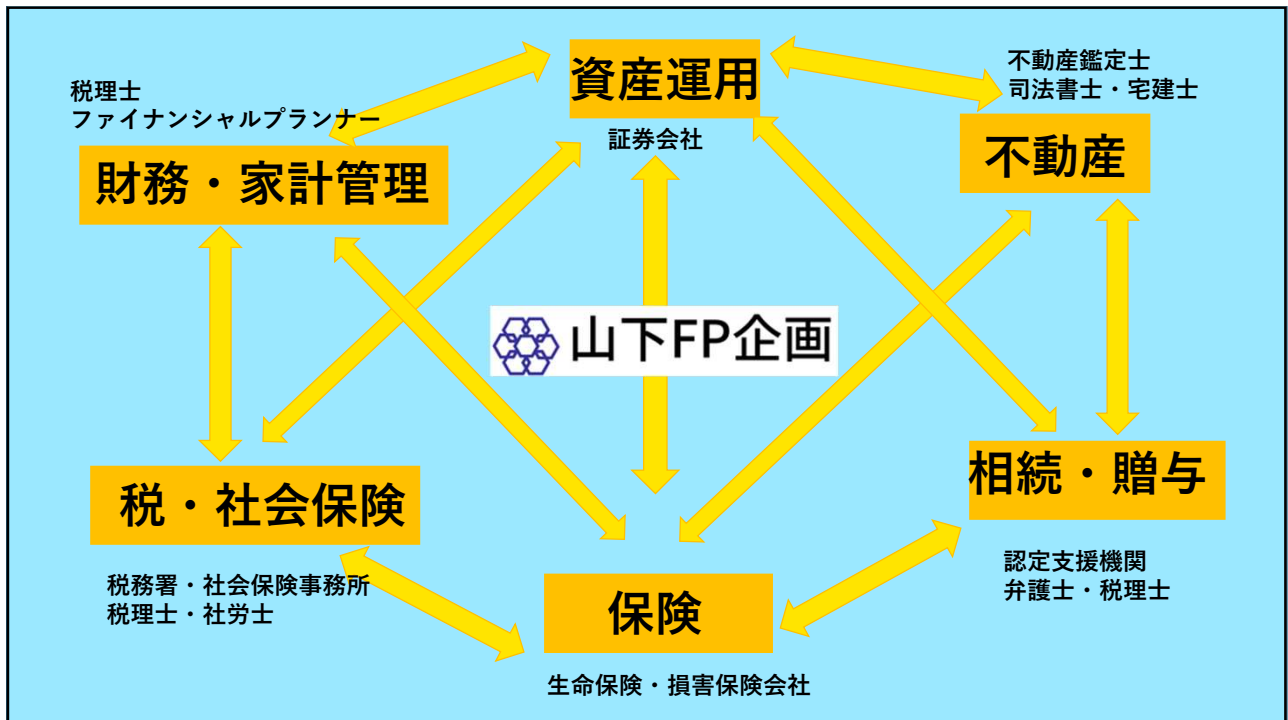


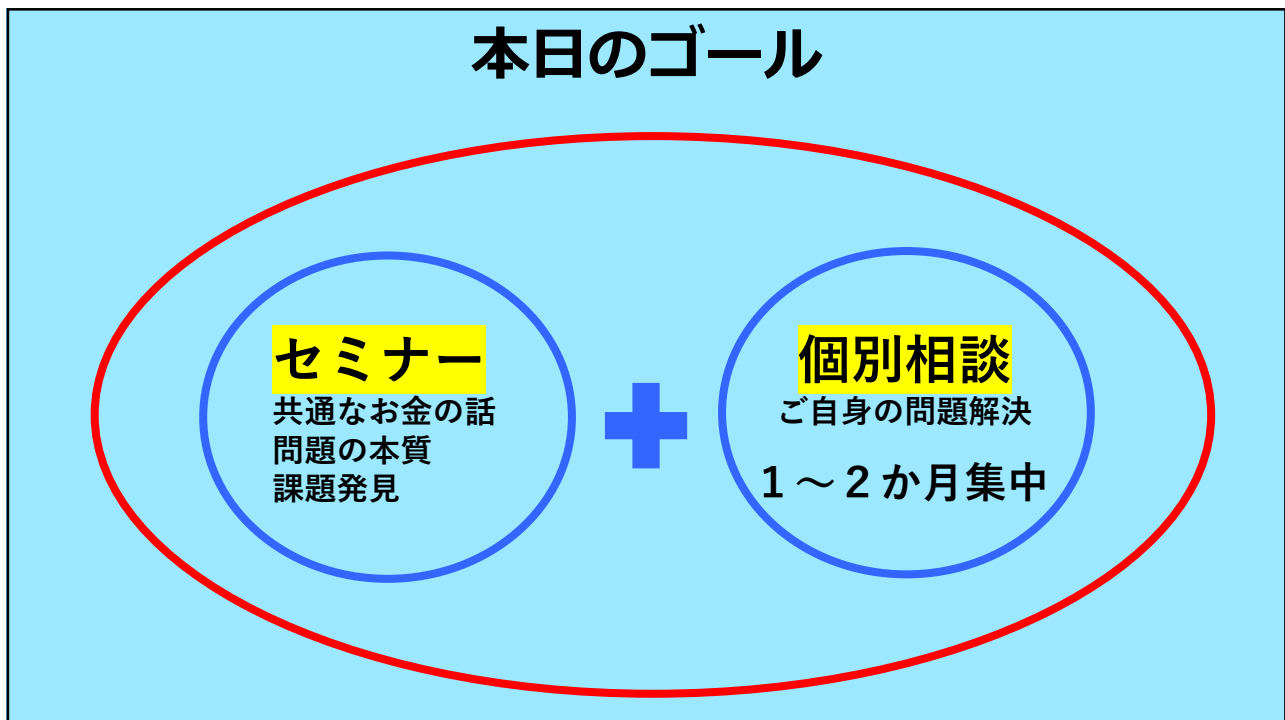
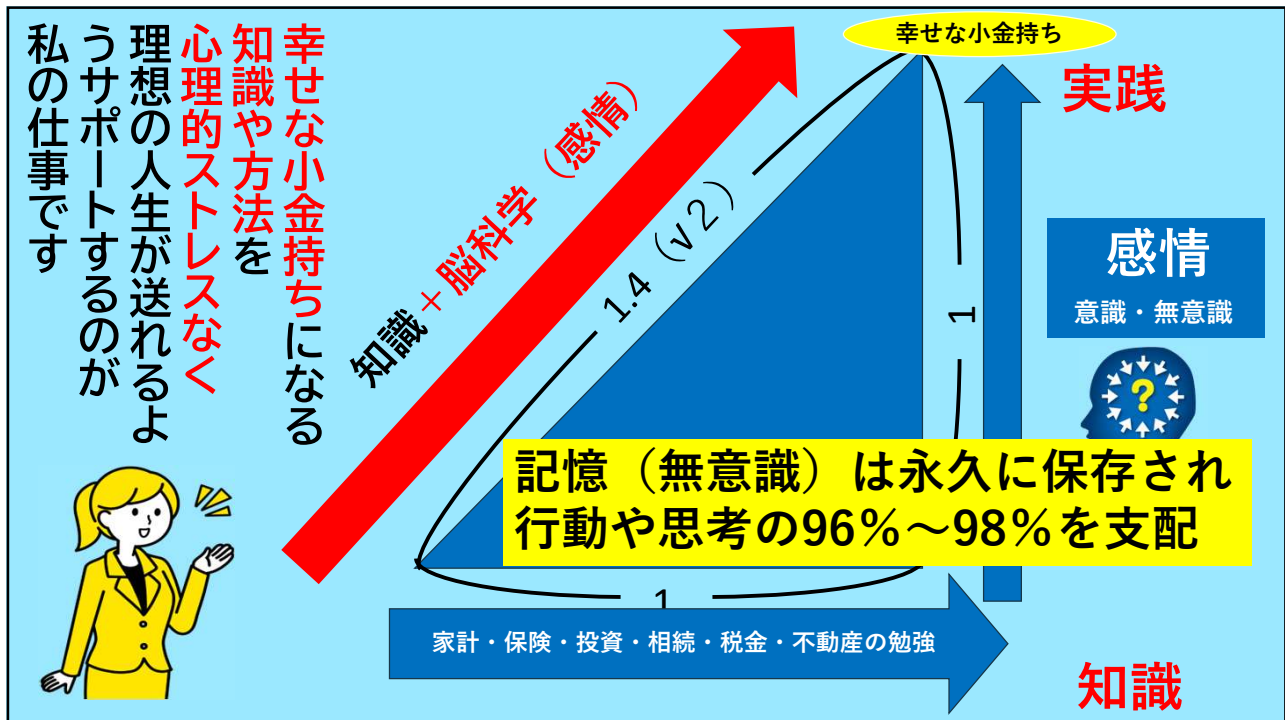
お金の分野・・・

いくつあるか？

ご存じですか？







【本日のお話】

インフレ・円安・物価高
税金・社会保険増・労働人口減
年金の目減り・人生100年時代突入



人生設計・マネープランに役立つ

お金の新常識をお伝えいたします

ところで、
みなさまの大事なお金
どこに預けて
いらっしゃいますか？



金融機関の使い分け出来ていますか？

銀行	証券会社	保険会社
借りる	殖やす	守る・貯める
現金の 一時的な避難場所	長期間使わない お金を殖やす場所	元本保証・死亡保障 を得ながら お金を貯める場所

過去10年で1割減価していた円資産！

インフレで実質価値は目減りしている



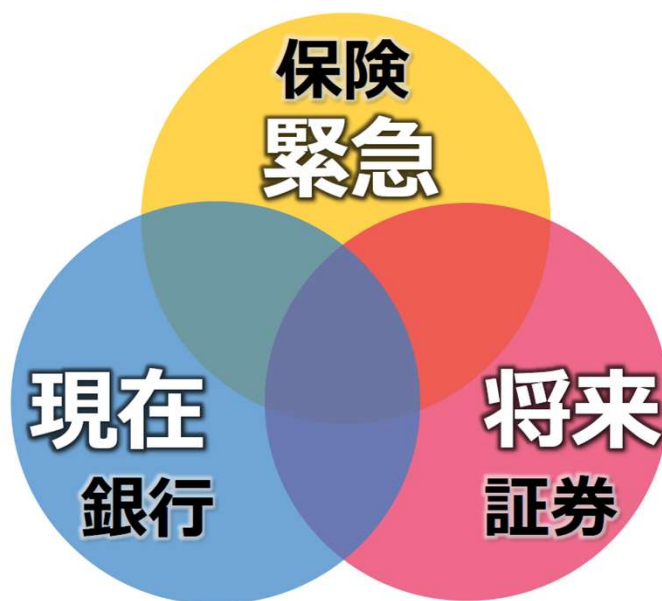
総務省「消費者物価指数」から筆者が計算し作成。資産価値をインフレ調整したもの（物価の逆数）を指数化。2010年初=100

（出所）日経ヴェリタス 第一生命経済研究所 熊野英夫氏算出

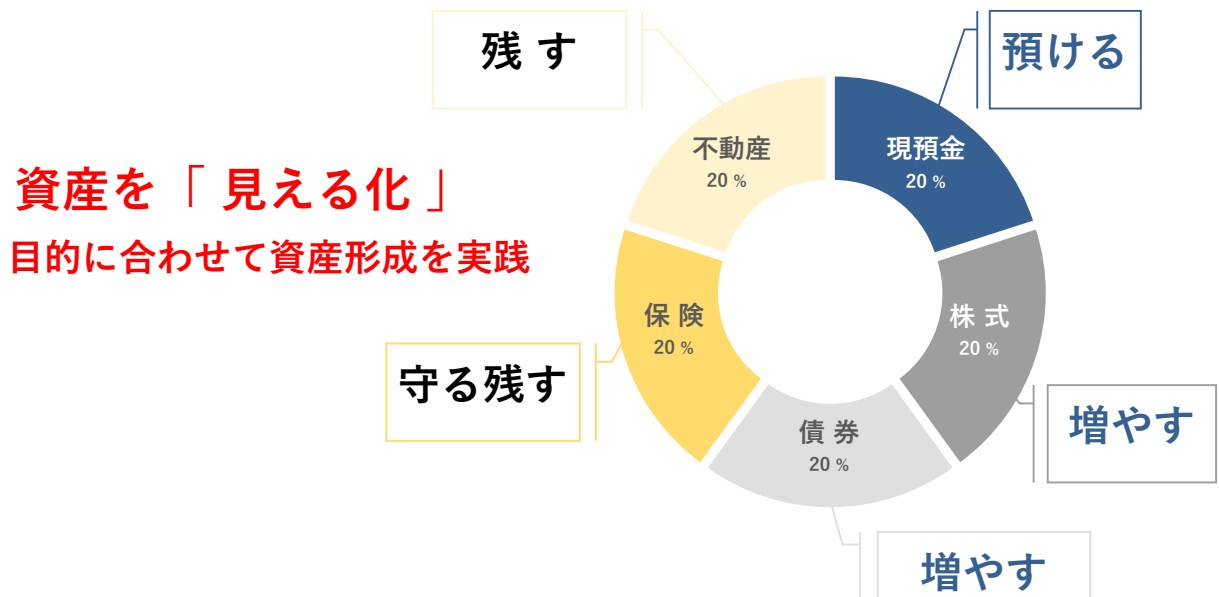
リーマンショックはトラウマに？（日経平均）



お金の置き場所は時間軸で考える



資産形成黄金のポートフォリオ



新常識①

銀行預金だけに集中するのはNG

目的別に3つのお金の置き場所
(銀行・保険・証券) を有効活用

老後のためのお金って いくら必要でしょうか？



毎月の生活費 **30** 万円（夫婦）× **12** ヶ月 = **360** 万円（年間の生活費）

70 歳から **100** 歳まで生活をする？

360 万円 × **30** 年 = **1億800万円**

（年金が **1** 円も貰えない場合）

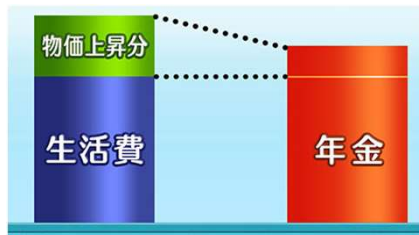
もしも、年金が22万円もらえるなら・・・

（30万円－22万円）× 12カ月 × 30年 = **2880万円**

年金って、将来 もらえる???



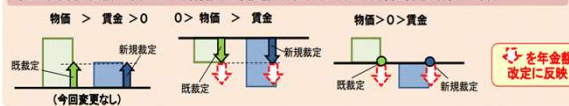
年金は、物価と賃金で毎年決定



物価が上がっても年金は抑制

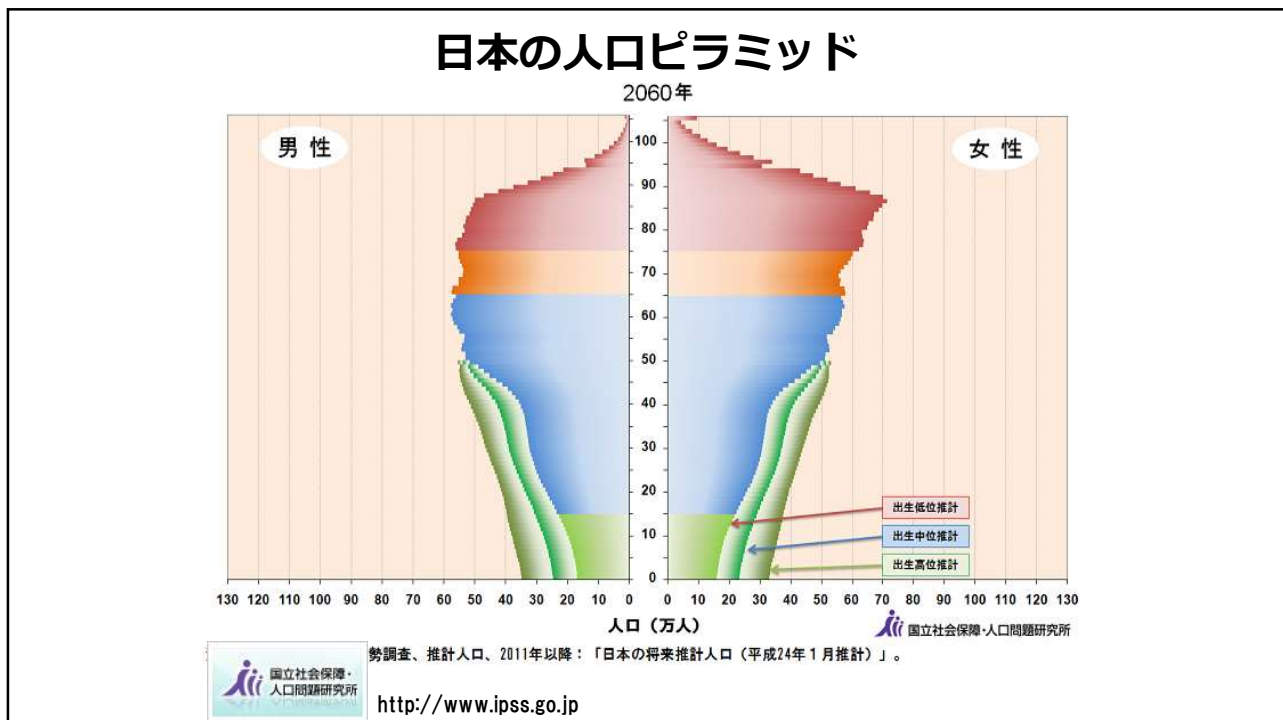
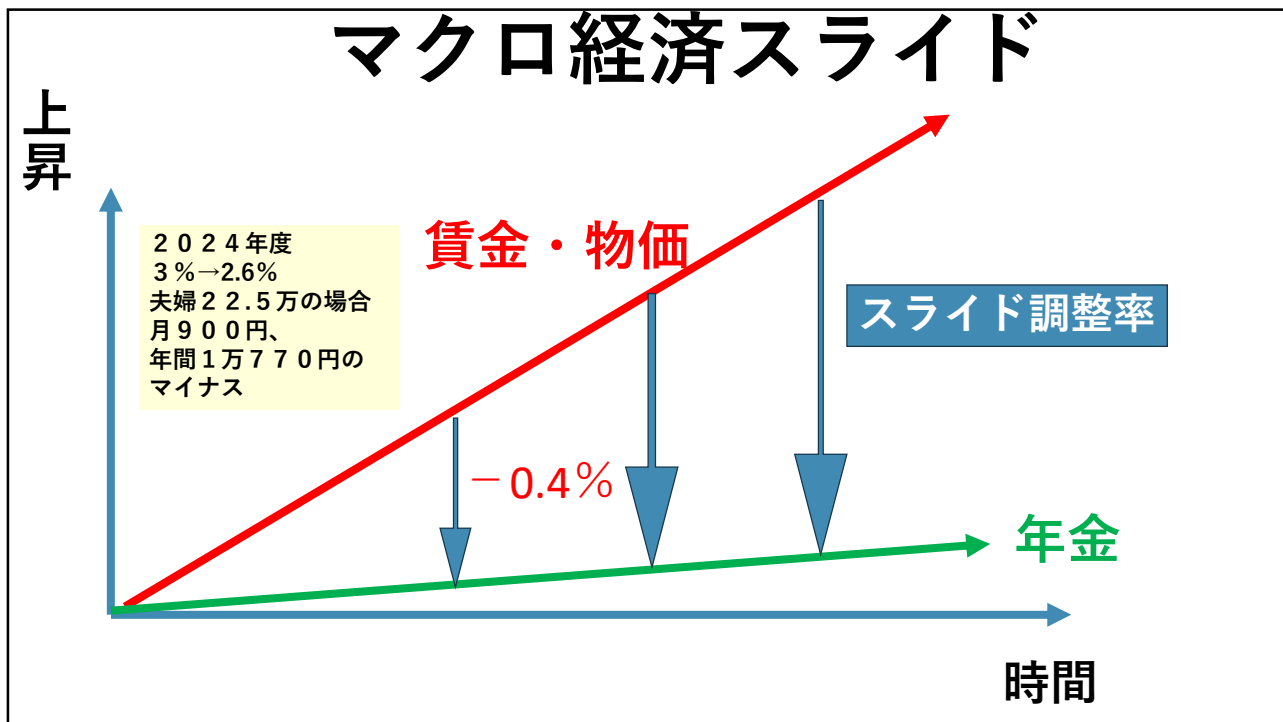
② 賃金・物価スライドの見直し (賃金・物価動向など短期的な経済動向の変化に対応)

年金は世代間の仕送りであることから、親世代の負担能力が低下しているときは、賃金変動に合わせて改定



賃金下がると年金減る

財務省資料より抜粋



国は…年金制度維持のために…

18-64歳で65歳以上を支える場合



18-74歳で75歳以上を支える場合



(出所) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年4月1日現在・出生率・死亡率に準拠）」を基に作成

75歳まで長く働くことで、年金問題解消！

65歳以上が年金生活者

75歳以上が年金生活者



2040年

1.5人で1人

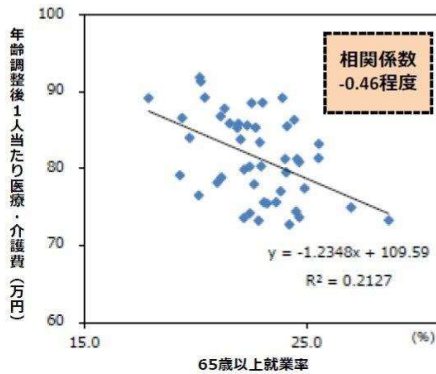


2040年

3.3人で1人

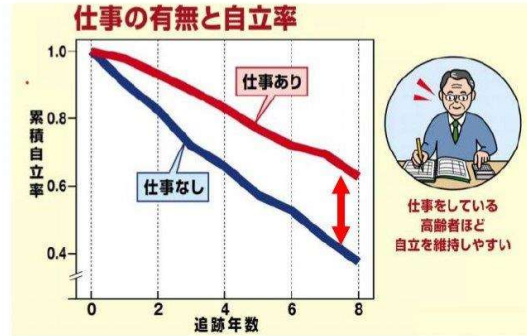
長く働くことは、健康と経済の両方を手に

65歳以上就業率が高い都道府県ほど、1人当たり医療・介護費は低い傾向



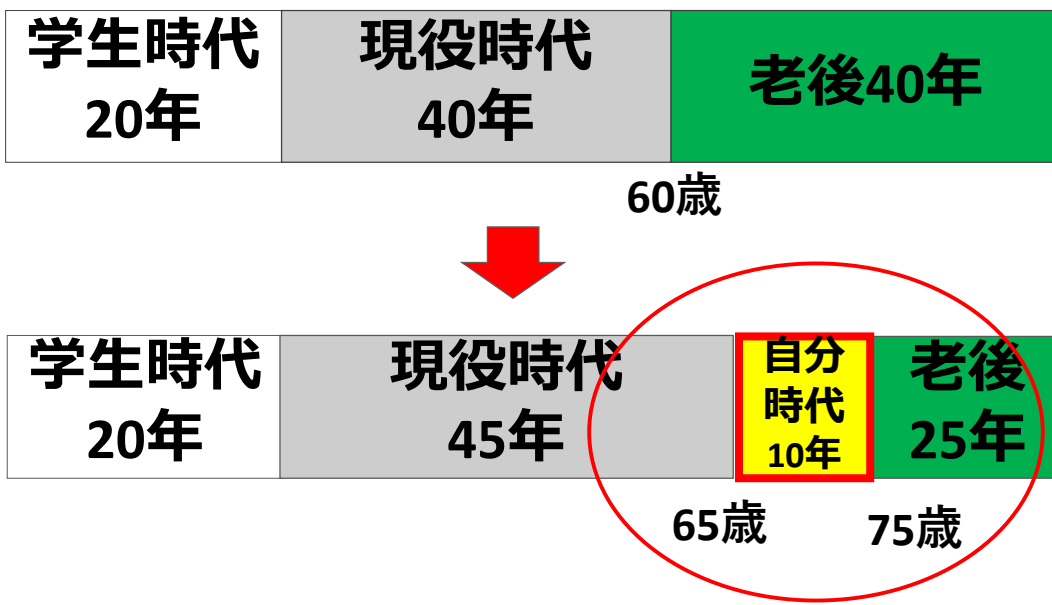
(出所) 平成30年5月21日経済財政諮問会議 加藤臨時委員提出資料

就労は、将来のADL障害リスクを減少



(出所) 第3回次期国民健康づくり運動プラン策定専門委員会(平成24年1月)資料1

自分時代(65~75歳)のライフプラン



新常識②

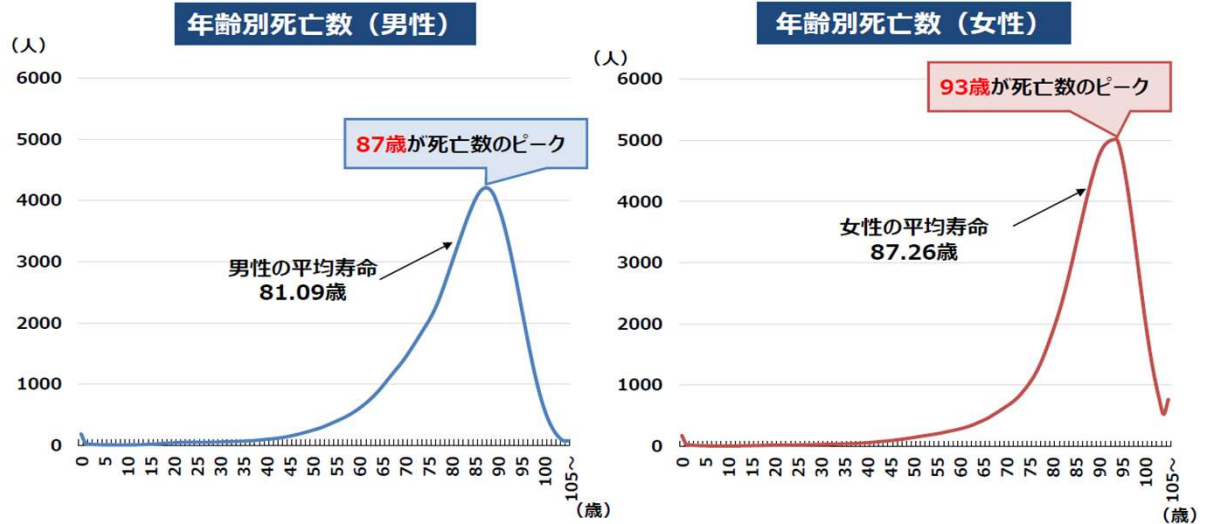
人口減少・高齢化・インフレにより
公的年金はゼロにならないが先細り

60歳～75歳の「自分時代」
をどう過ごすのか？が鍵！

人生100年？
そんなに長生きする？

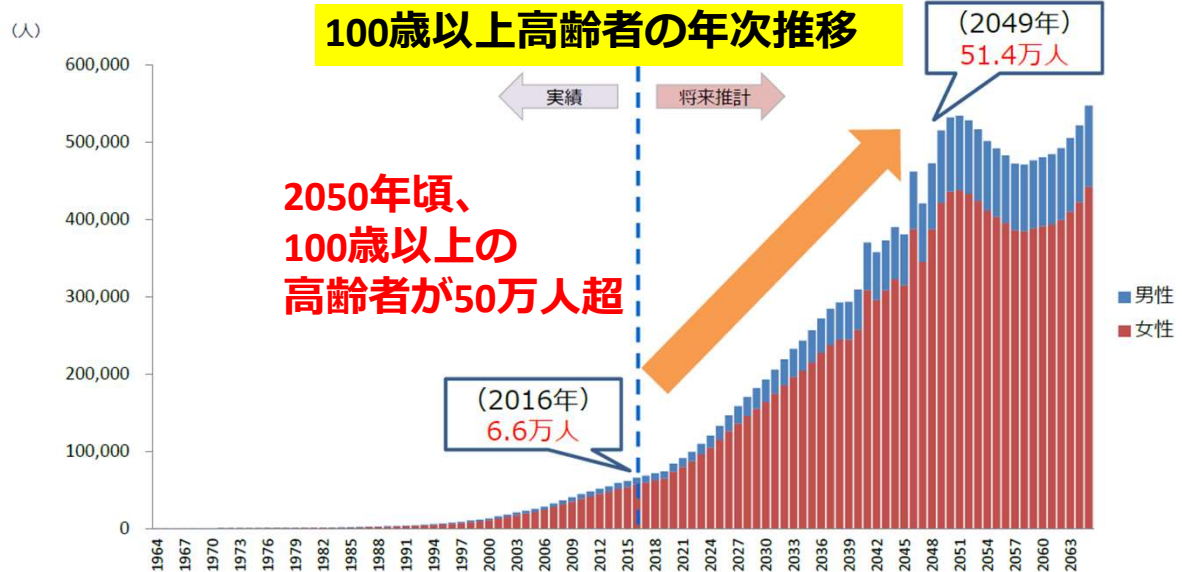


男性 87 歳 女性 93 歳 死亡のピーク



厚生労働省資料より

人生100年時代の到来



（出所）厚生労働省「男女別百歳以上高齢者数の年次推移」「国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年4月推計）」

100年時代の最大のリスク = **預金**が底をつく



100歳まで生きることを
前提とした**備え**が必要



人生100年時代は3つの収入を上手く活用

70歳～ **自分時代** ～80歳

100歳

勤労収入

長く働く（非常勤）

年金収入

公的年金 + 個人年金

資産収入

元本が減らない資産運用



新常識③

人生100年時代を安心して暮らすために

- 1 長く働く
- 2 年金を増やす
- 3 減らない資産収入

介護のお金、いくら必要？



人生100年時代、お金の誤算

1位・・・介護費用の負担が重い

2位・・・老後も支出が止まらない

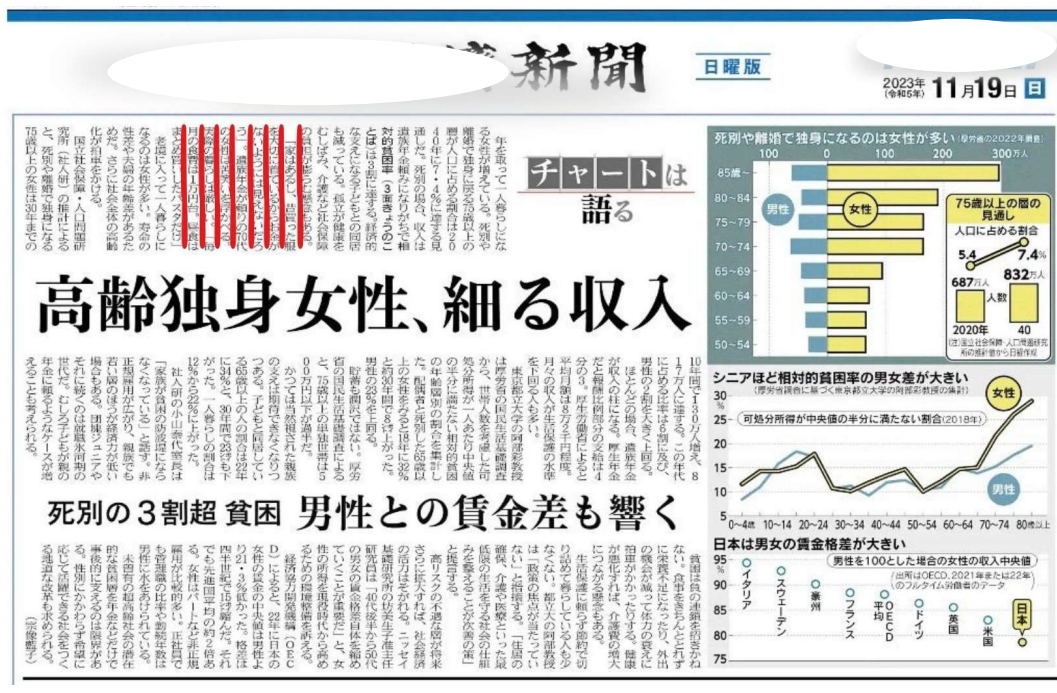
3位・・・住居費がかさむ

4位・・・住宅ローン問題

5位・・・預金が足りない

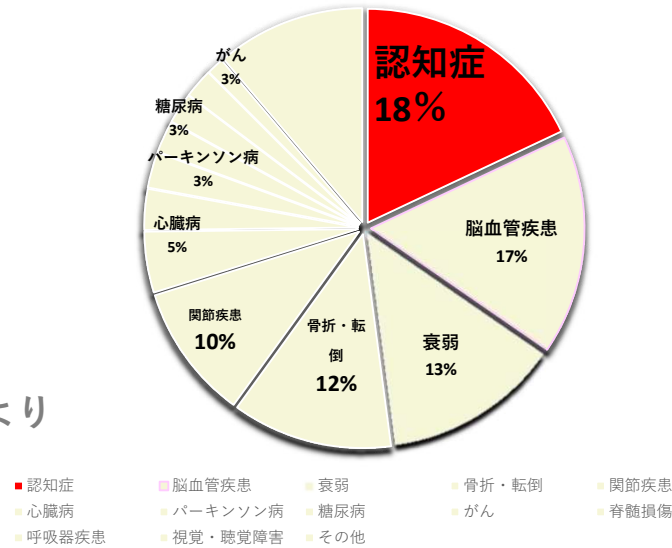
NIKKI プラス1 なんでもランキング

2021年7月3日（家計の専門家が選んだお金の誤算より）

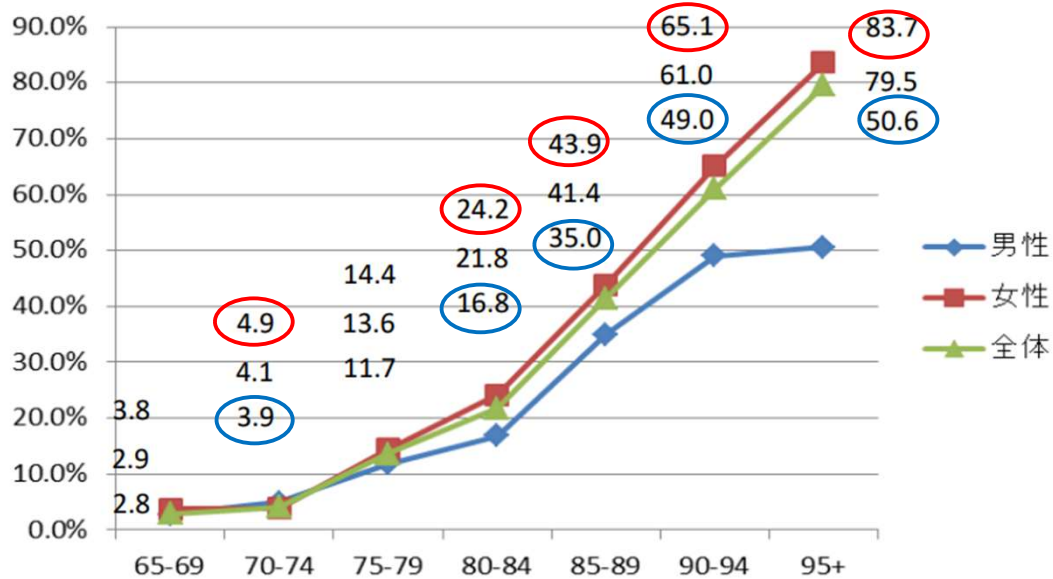


要介護の原因のトップは認知症

厚生労働省より



認知症は「長生き病」



総合研究所報告書 都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応「平成23年度～平成24年度」

介護が必要になったら、選択は2つ！

介護サービスを利用するしかない

「在宅介護」

「施設入居」



介護にかかる費用（目安）

「在宅介護」

約 **4** 万円/月
× 10 年 （平均利用年数）

約 **500万円**

「施設入居」

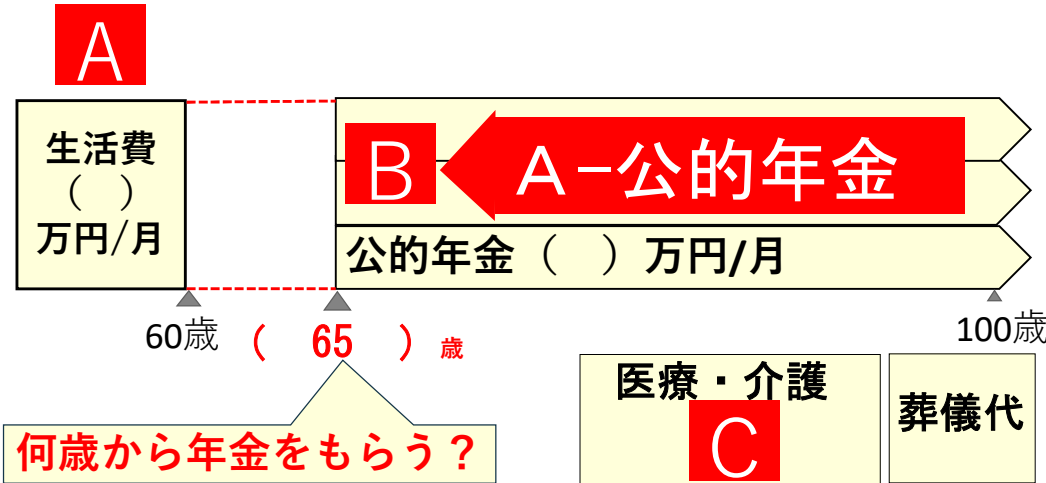
約 **22** 万円/月
× 4 年 （平均利用年数）

約 **1,000万円**

高齢者の介護・医療負担増！

項目	時期	内容
後期高齢者の医療保険料引き上げ	2024.4月～	後期高齢者の医療保険が24～25年の2年で平均5,200円引き上げ
介護保険料引き上げ	2024.4月～	後期高齢者の介護保険料改定予定。5000円/月、引き上げ予定
後期高齢者の医療費自己負担割合の引き上げ	検討中	後期高齢者の医療費自己負担を原則2割に引き上げる
介護保険自己負担割合の引き上げ	検討中	原則1割負担だが2割負担の対象者拡大の見込み
ケアプラン有料化	検討中	無料だったケアプランが有料化されると5000円～1万円の負担増に
国民年金の支払い延長	検討中	60歳→65歳まで？

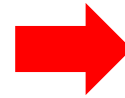
老後に必要なお金は、A・B・Cの3つを把握



新常識④

人生100年時代を安心して暮らすために

- ・足りない老後資金はいくら？
- ・介護はいくら？
- ・最後は誰のお世話に？



早い段階で
資金の準備

介護・認知症になると、
何が問題？対策はある？



認知症になると資産凍結・法律行為×



自宅売却



アパート大規模修繕・建て替え



金融商品の売買



会社の運営



預金の引き出し



子・孫への贈与

相続人が認知症になると遺産分割できない



成年後見制度

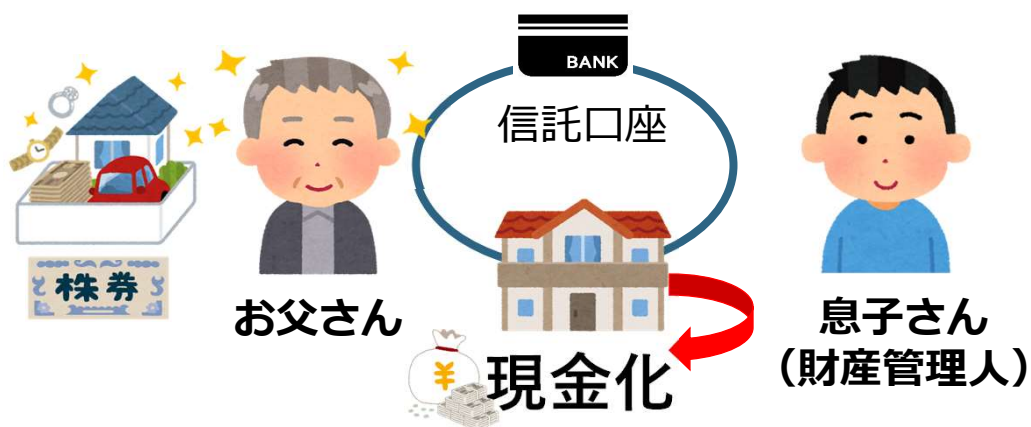


成年後見制度では、すべての財産が裁判所の監督下へ

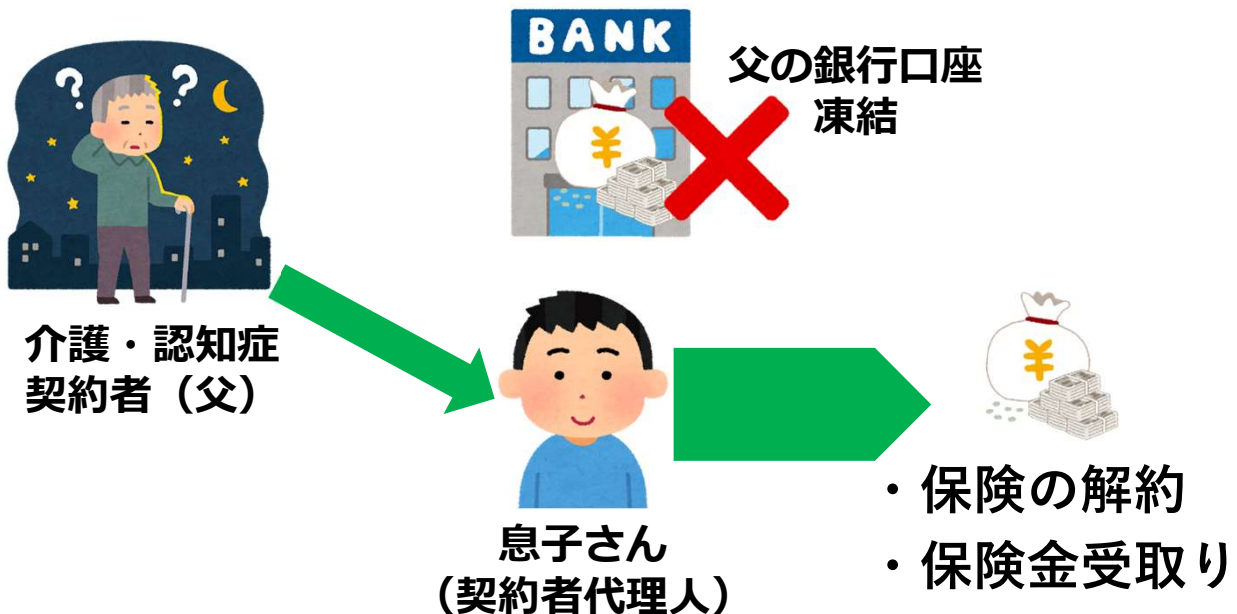


積極的な運用（株・投資）不可
 利益を減らす財産処分は不可
 自宅売却は裁判所の許可が必要

介護資金対策①…家族信託



介護資金対策②…介護保険・生命保険



遺産分割対策③…生命保険

生命保険金は相続財産ではなく、**受取人固有の財産**

生命保険金は遺産分割の対象とならず、
原則、遺産分割協議書への記載は不要

遺言は書きたくない！
介護で世話になる娘
に他の兄弟より多く
お金を渡してやりたい



介護資金の置き場所を考える・・・



介護保険外の自費サービス
入所したい施設の一時金など

新常識⑤

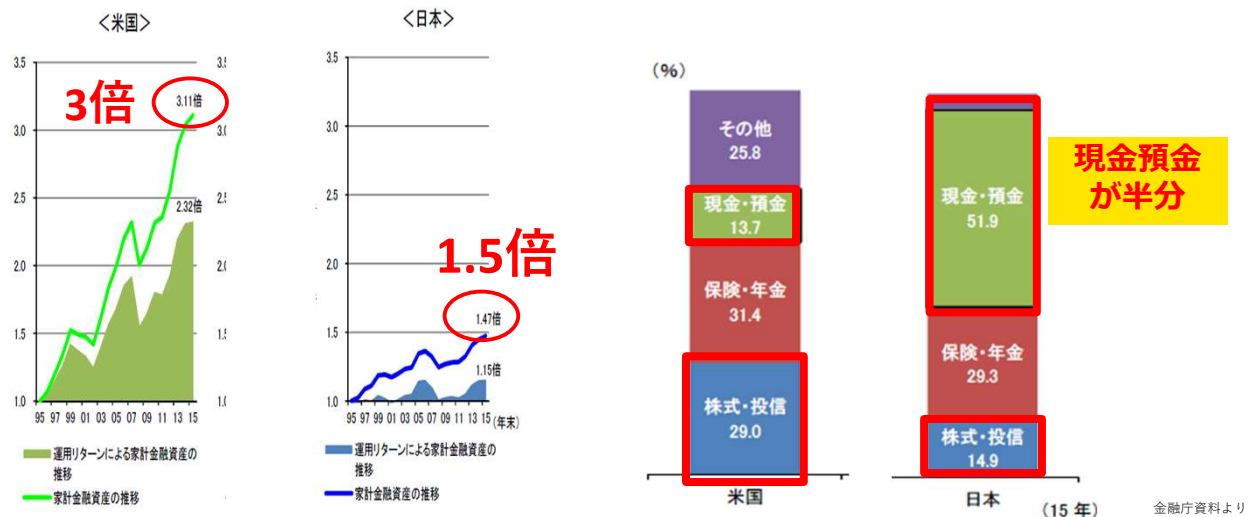
人生100年時代を安心して暮らすために

介護資金は、保険と預貯金
面倒をよく見てくれた子には生命保険
多額の財産は家族信託で凍結防止

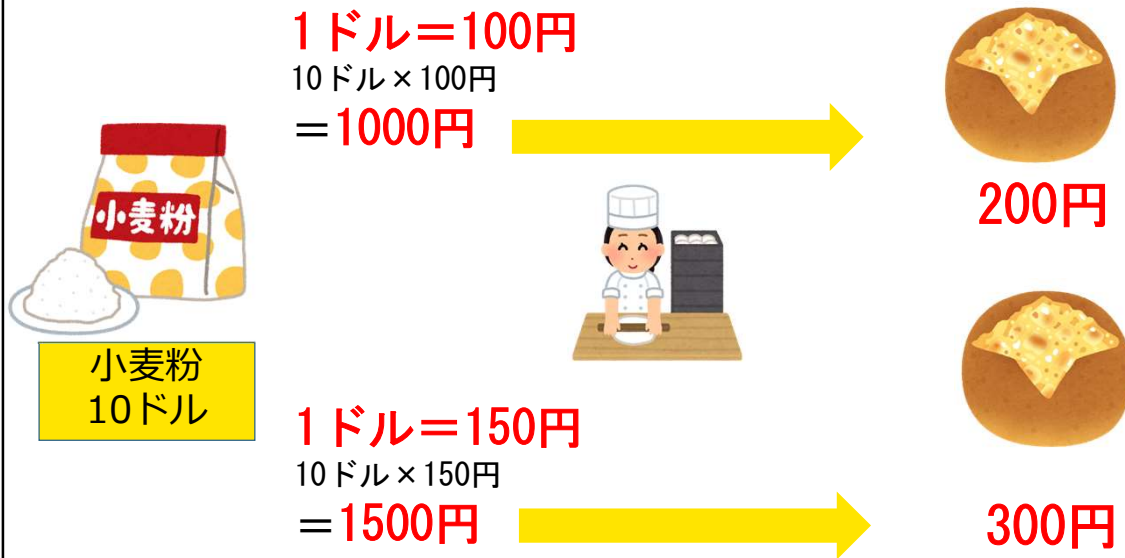
インフレ・円安 に負けない運用 何をすればいい？



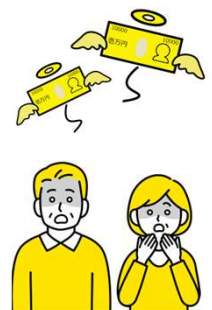
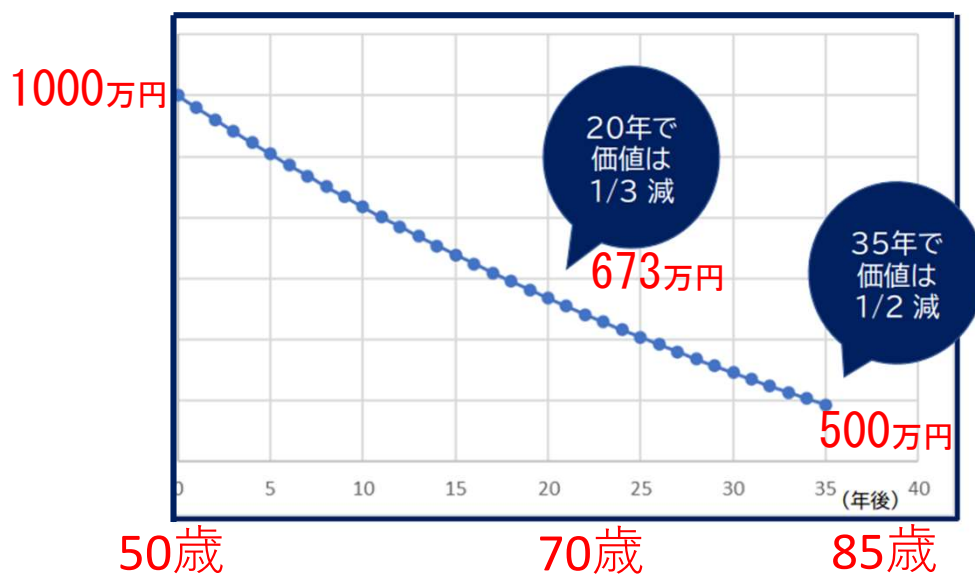
20年で米国は資産3倍、日本は1.5倍

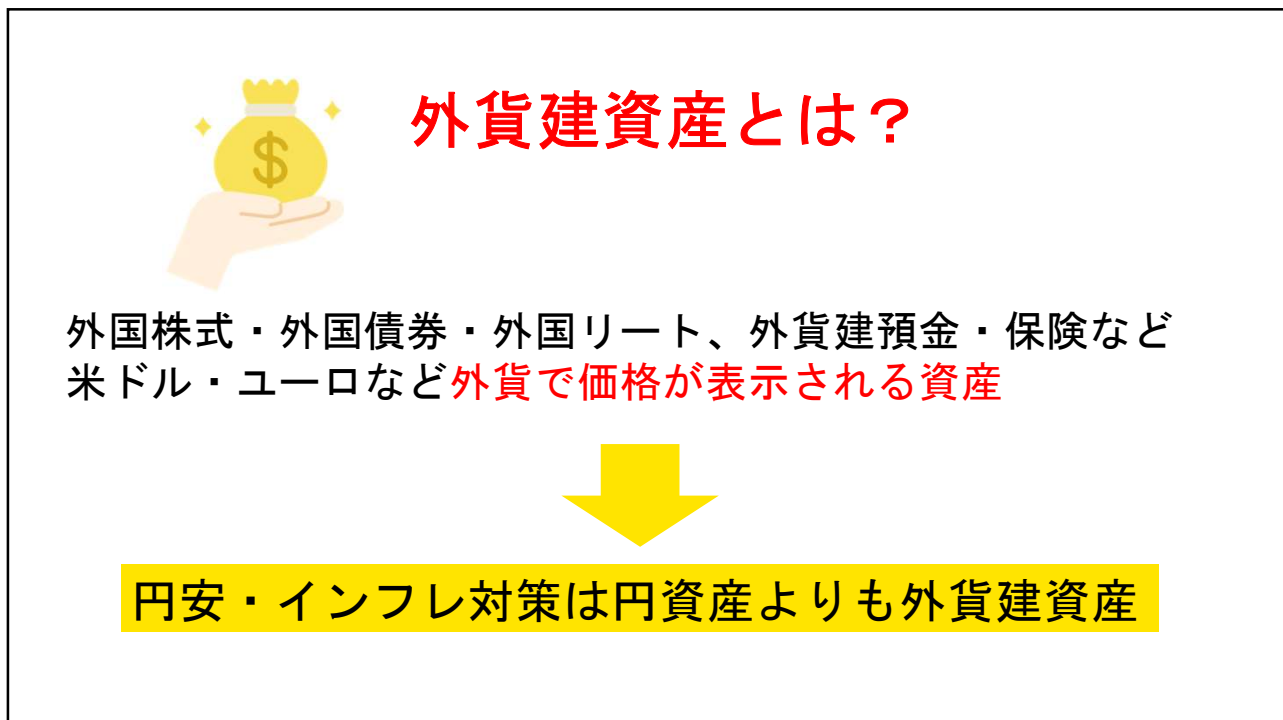
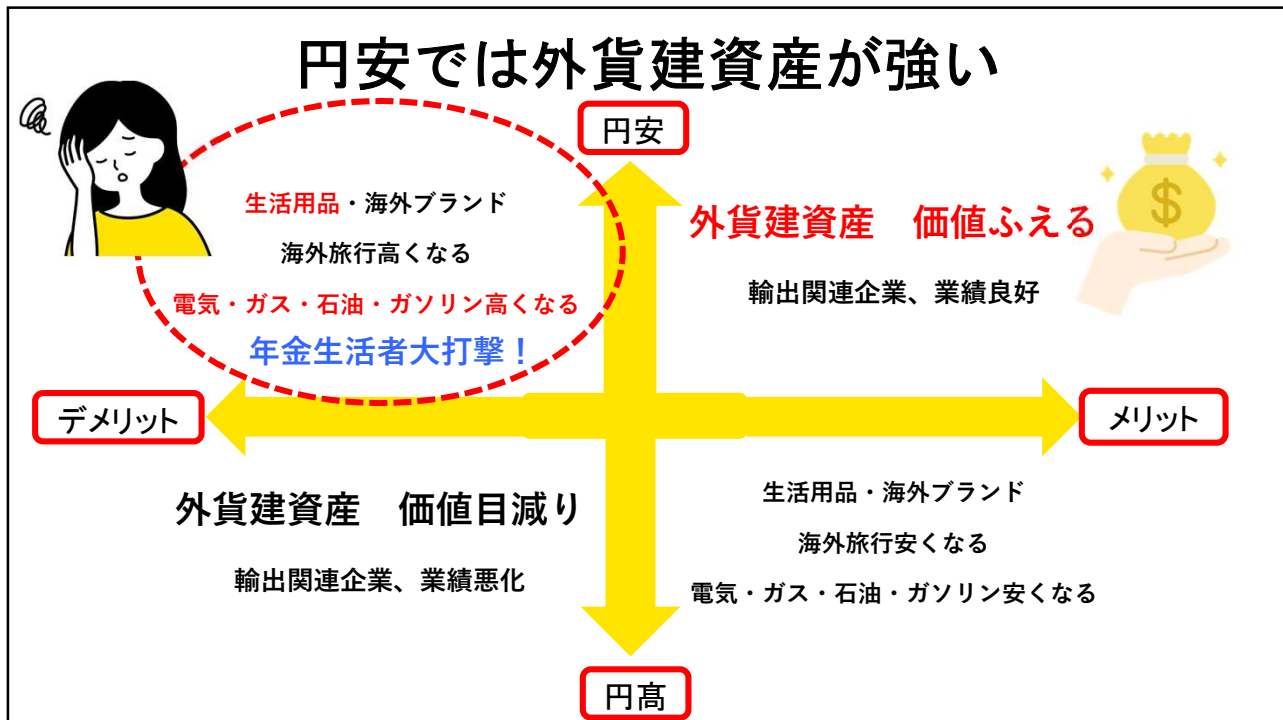


100円→150円になったら（円安・インフレ）



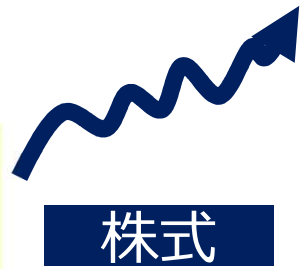
インフレが2%続くと円預金は目減り





株と債券の代表例

【株は成長する資産】



Amazon

1997年0.075ドル→2024年180ドル

27年で2400倍

100万円→24億

【債券は元本保証】



米国債券

国がお金を借り、債券を発行し、利息を払う。期日が来たら借りたお金を全額返還

4% (10年で)

100万円→ 140万円

保険の代表例

※1ドル150円



【保険は病気・介護・死亡等
貯金の減少に備えるもの】

ドル終身保険

万が一の場合10万ドル (1500万円)

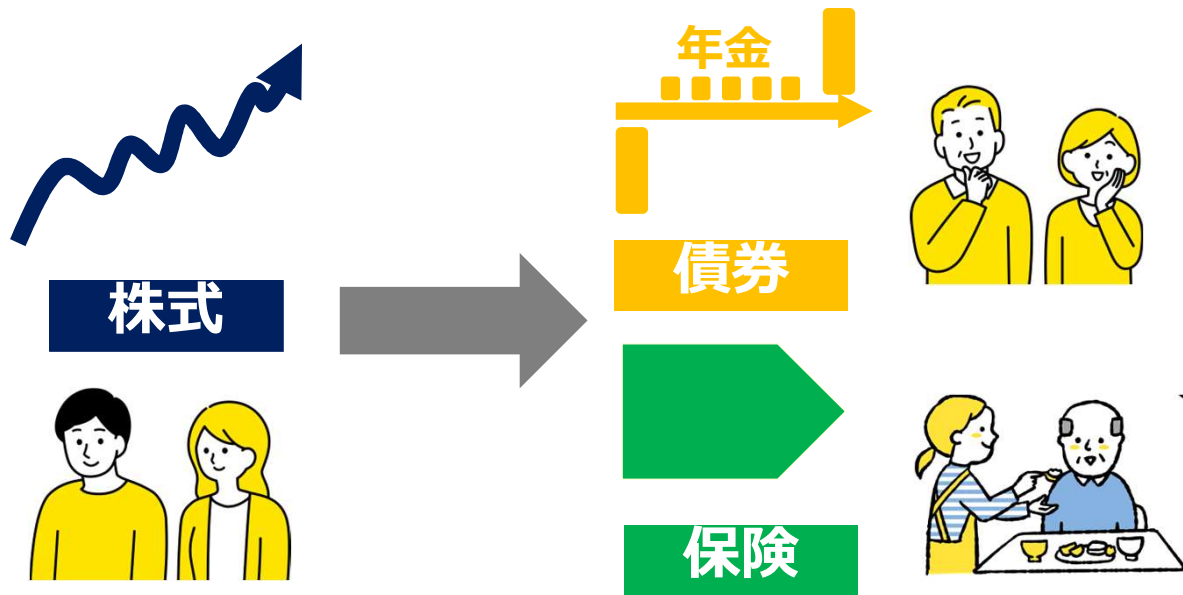
三大疾病保険

がん・心筋梗塞・脳卒中の場合5万ドル (750万円)

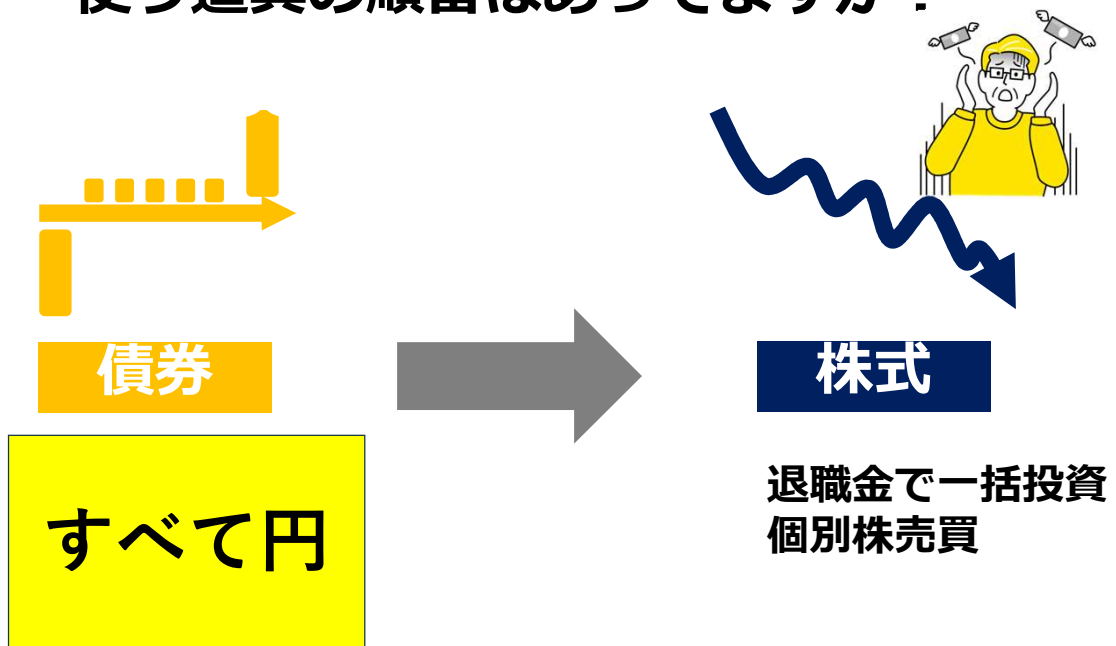
介護・障害保険

要介護2・障害手帳3級の場合5万ドル (750万円)

現役時代は株で攻め、退職後は債券・保険で守る



使う道具の順番はあってますか？



新常識⑥

円安・物価高・円預金リスク対策として

外貨建て資産（株式・債券・保険）

新NISAって、
どうなんですか？



生涯投資枠「1800万円」の利益が非課税

<2024年からのNISA>

	つみたて投資枠	併用可	成長投資枠
年間投資枠	120万円		240万円
非課税保有期間（注1）	無期限化		無期限化
非課税保有限度額（総枠）（注2）	1,800万円 ※簿価残高方式で管理（枠の再利用が可能）		
口座開設期間	恒久化		恒久化
投資対象商品	長期の積立・分散投資に適した一定の投資信託 〔 現行のつみたてNISA対象商品と同様 〕		上場株式・投資信託等（注3） 〔 ①整理・監視銘柄②信託期間20年未満、高レバレッジ型及び毎月分配型の投資信託等を除外 〕
対象年齢	18歳以上		18歳以上
現行制度との関係	2023年末までに現行の一般NISA及びつみたてNISA制度において投資した商品は、新しい制度の外枠で、現行制度における非課税措置を適用 ※現行制度から新しい制度へのロールオーバーは不可		

知ったら始めたいくなる
資産寿命を延ばす取崩

【少しずつ取崩しながら運用継続】

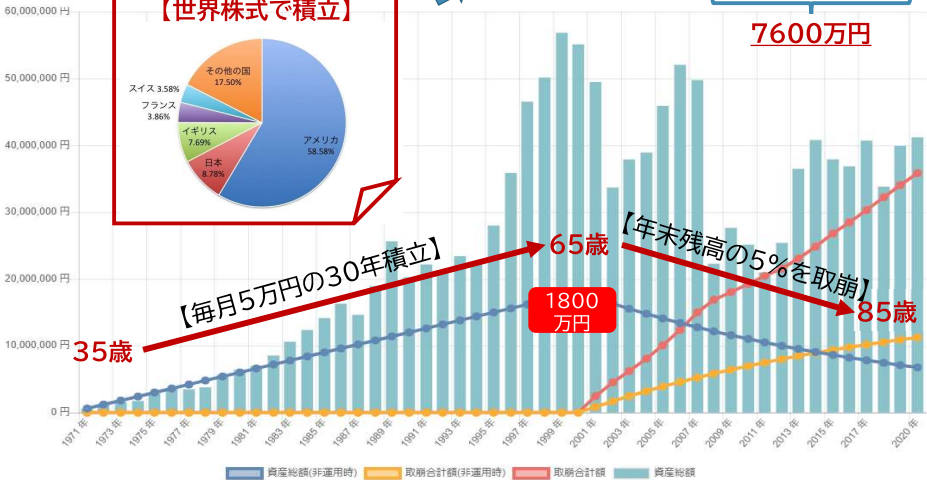
5500万
円の残高

3500
万円の
取崩額

4100
万円の
残高

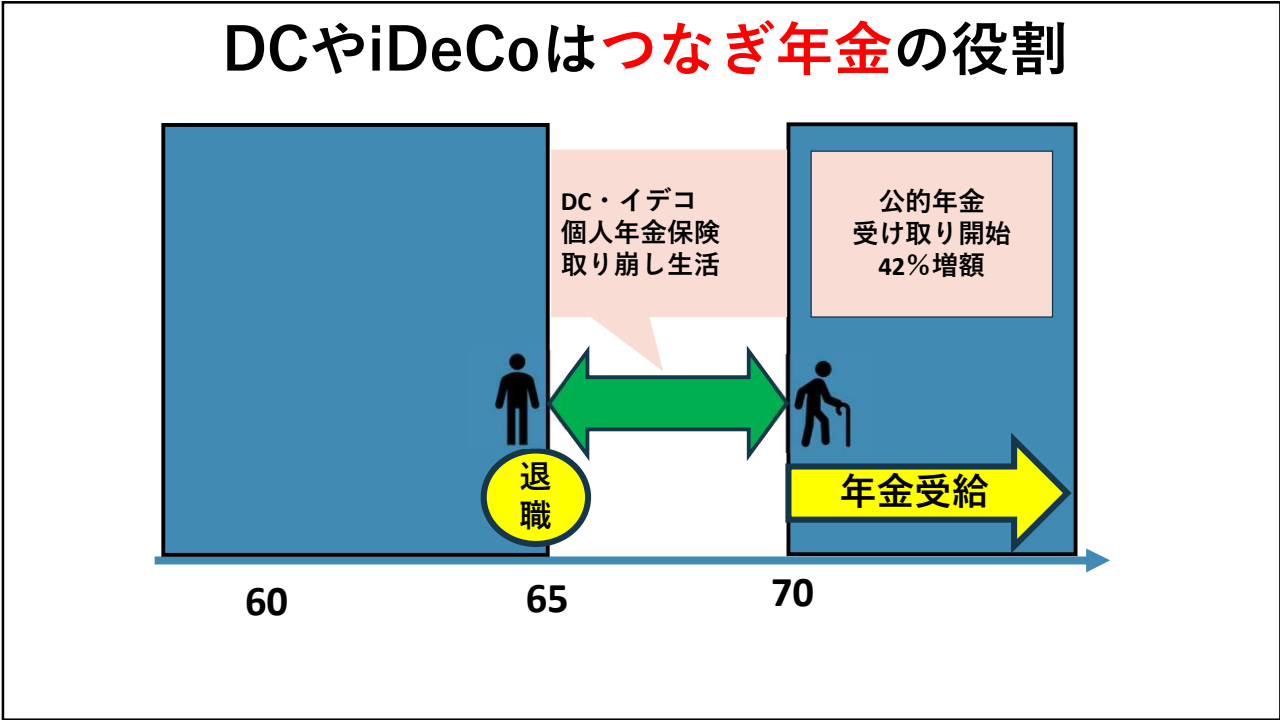
7600万円

【世界株式で積立】

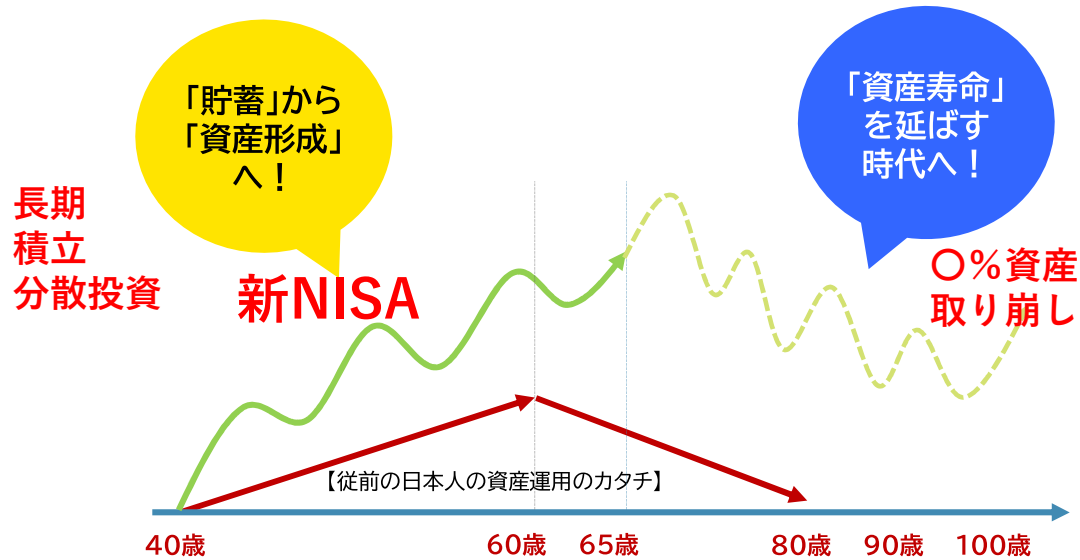


（注）こゝで表示されるリターン率の数値は、過去の実績であり将来を約束するものではありません。また、手数料や税金等のコストは含まれておりません。計算については正しくデータが反映されるように注意して行っていますが、正確性・完全性について保証するものではありません。当ツールは、MSCI WORLD（世界株式指数）をインデックスとして採用していますが、コムジエスト・アセット・マネジメント株式会社が権利を有し、一般社団法人経

	iDeCo	NISA
利用年齢	20歳以上65歳未満	18歳以上
年間投資枠	14.4万円～81.6万円	360万円 積立120万円 成長240万円
税制の優遇は？	拠出時→掛金全額所得控除 運用時→運用益非課税 受取時→一時金（退職所得控除） →年金（雑所得・公的年金等控除）	運用益が非課税
いつでも引き出せる？	原則60歳まで引き出せない	引き出せる
死亡したときは？	原則、遺族 死亡退職金非課税枠より 500万円×法定相続人までは非課税	原則、相続人 相続人の課税口座 へ移管



公的年金＋NISA・iDeCo・DCで老後資金



75

新常識⑦

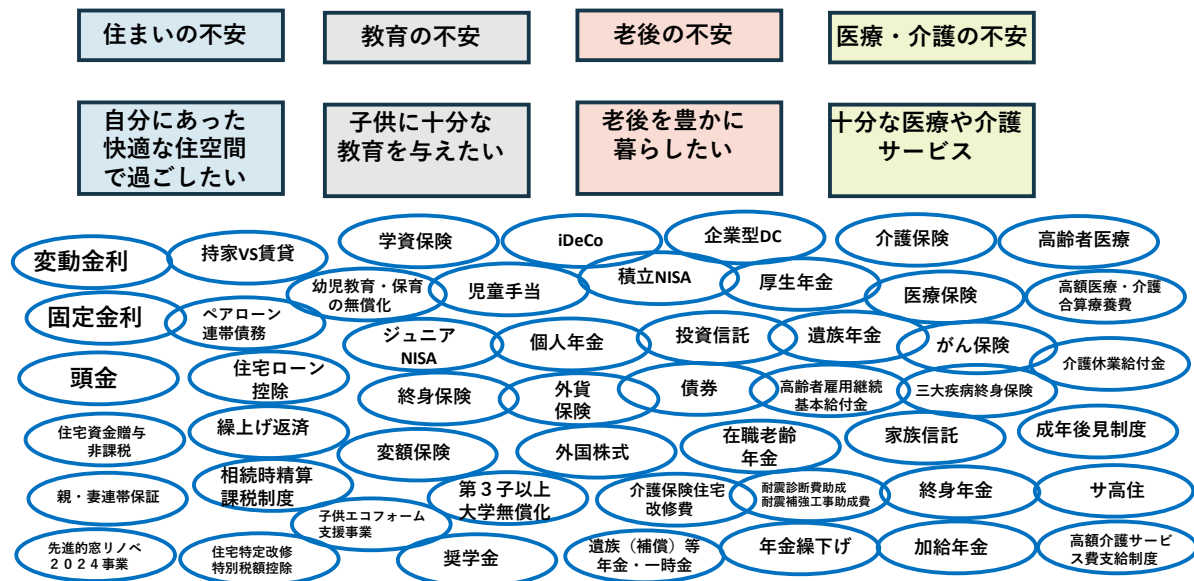
積立投資は遅くない

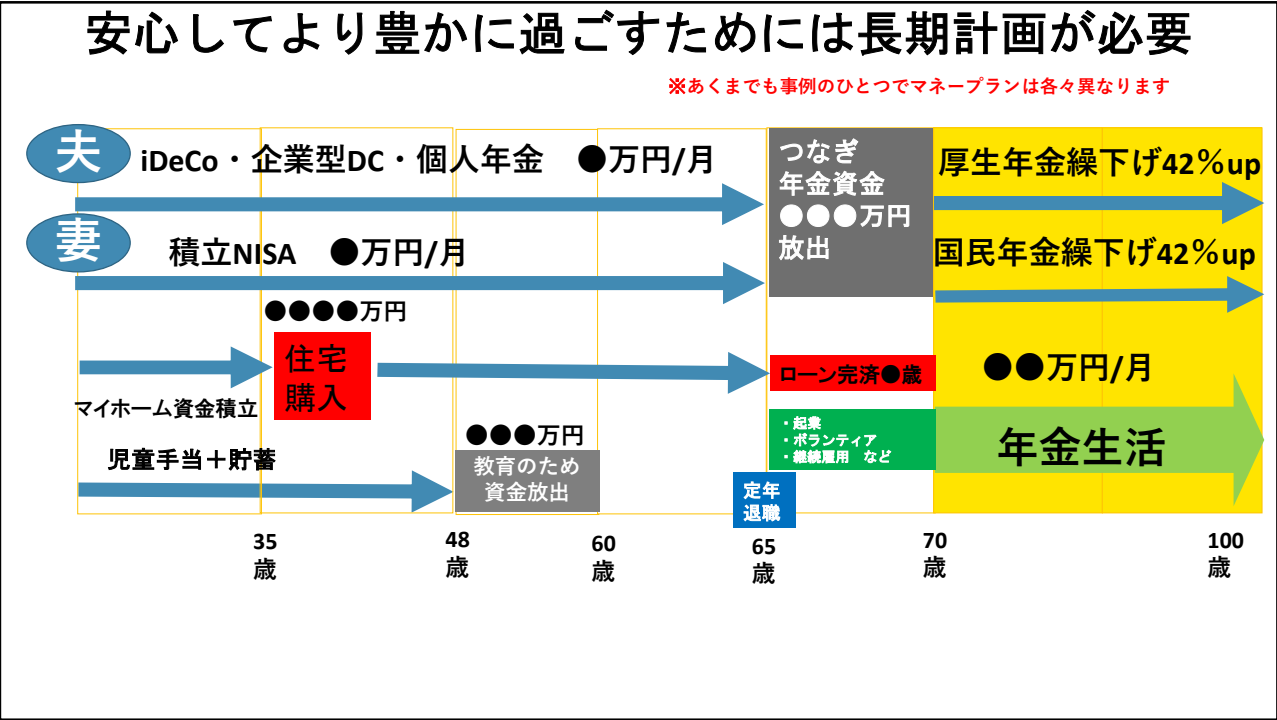
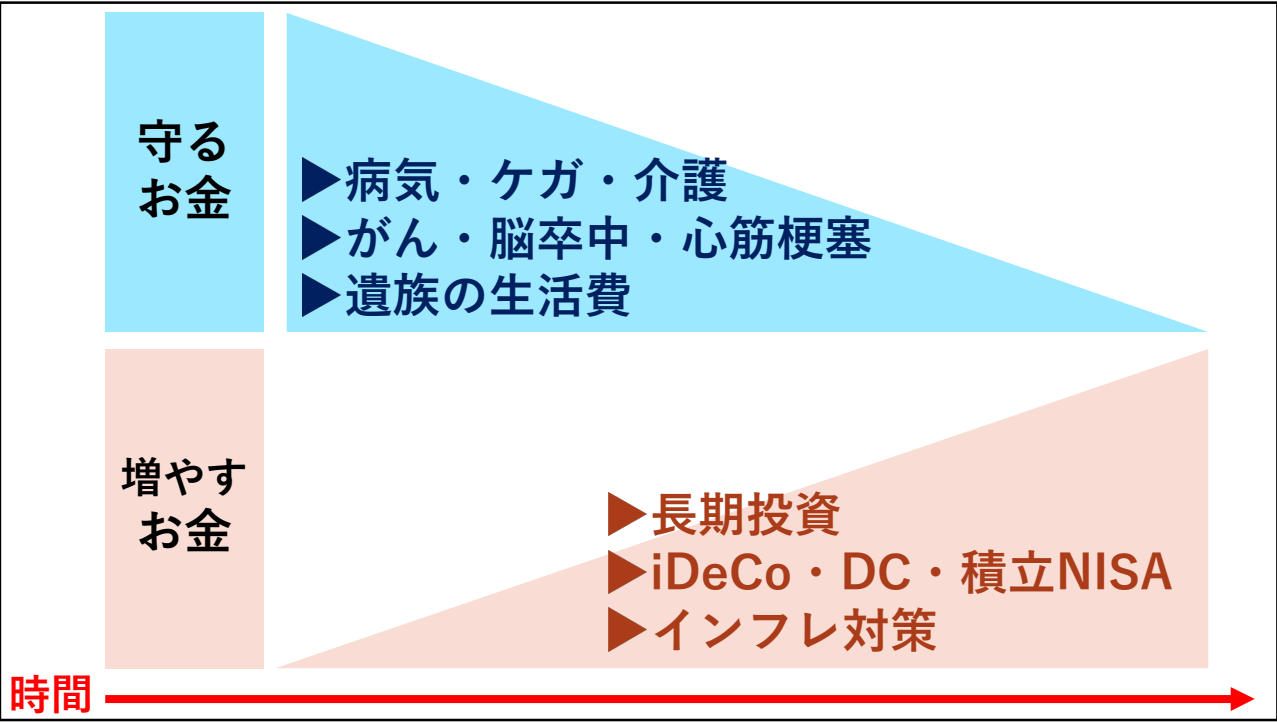
**取り崩し運用で
資産寿命を延ばす！**

最後に、相談事例をご紹介します



上手くいくために、様々な制度や商品知識を駆使





Bさん35歳 妻34歳 パート主婦 子供8歳・10歳 世帯年収500万



物価高騰！電気・ガス・値上がりで
教育・老後資金を貯める余裕がない・・・



固定費の削減⇒保険の見直し・携帯の見直し

貯蓄アップ⇒2万円/月

iDeCo、積立NISAスタート

30年720万円⇒2,981万円目標



自分にあった生命保険の選び方

生活費 26万円/月	不足金額 10万円
三大疾病	遺族年金 16万円
介護	200万円～
入院	500万円～
	5千円～ 高額療養費

民間の生命保険
※グループ保険
(全国卸商業団地
協同組合連合会)

積立NISA・ファンド選び



貯蓄の成功事例 Cさん50代夫婦



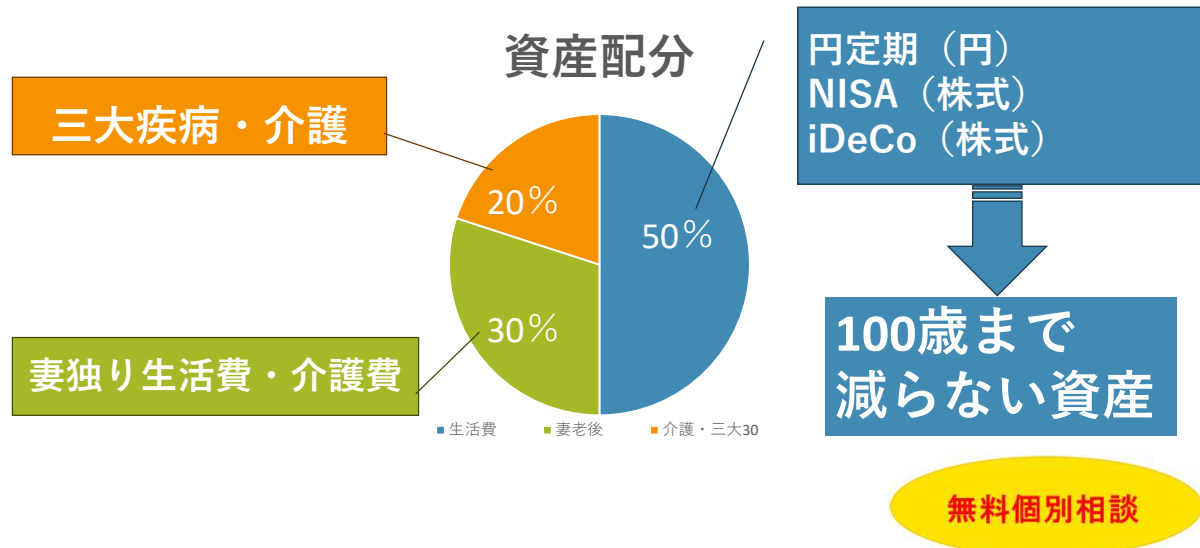
銀行預金に預けているだけのお金、思案中
このままおいておいて価値が減るのが怖い
でも投資も怖い



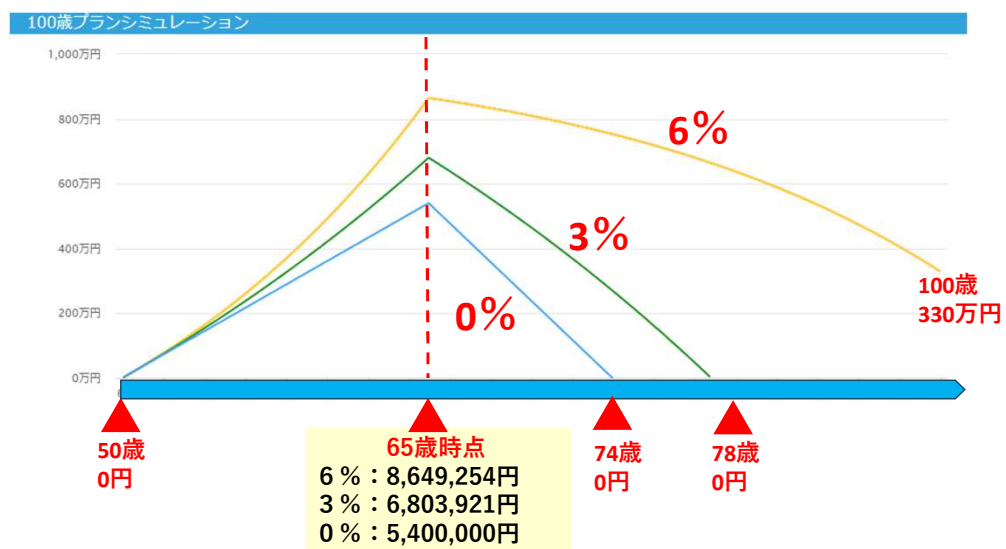
資産の棚卸 ⇒ 65歳の資産構成（ポートフォリオ）を作成

- ⇒ 現金預金から積立NISA（夫婦のゆとり資金）
- ⇒ 円終身保険からドル終身保険（妻・生活費）
- ⇒ 妻預金から認知症・介護保険積立（妻・介護費用）

65歳の資産構成



50歳～65歳まで**3**万円/月積立⇒65歳から**毎月5万円**定期引き出し



新常識⑧

人生100年時代は 退職後のマネープランが肝

目的別に積立計画を！

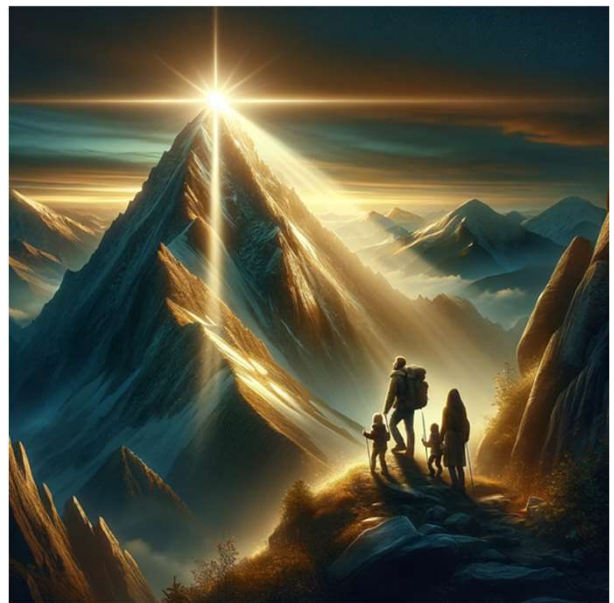
本日は、ありがとうございました！

あなたのライフプランゴール到達へ

一番安全に、一番早く、一番確実に、
そして、ストレスなく楽しめるよう

長年の経験と知恵と知識で、
その方に合ったファイナンシャルプランを
作成し、ガイドするのが私の仕事です！

些細な事でも、聞いてみたい！
相談したいことがございましたら、
この先は、無料個別相談に
お申込みください(^^♪



個別相談ご案内

① セミナーレビュー

セミナーを振り返り、聞き足りなかったことや、分かりにくかった点を一緒に考えます。

② 問題点・やるべきことの明確化

「そもそも何を解決すべきか？」をまず知ることが非常に重要
ココを知らずして「お金を残すこと&増やすこと」はできません

③ ゴールへの道筋とステップの構築

個別相談について

- 開催日：後日、日程調整のご連絡をします
- 所要時間：45分～60分程度
- 場所：ZOOM(オンライン)
- **料金無料 ※本日中お申込み限り**
- **申込方法：アンケート兼個別相談申込書ご記入**
- 個別相談は山下が担当します
- 守秘義務は遵守いたします